学校番号	２１０２

令和３年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	C 英語Ⅱb	2 単位	2 年次	Vivid English CommunicationⅡ

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書本文を正確に音読できるようにする。
・教科書の内容について英語の問いに簡単な英語で答えることができるようにする。
・文法項目に関しては家庭学習で復習を必ず定着をはかる。

2　学習の到達目標

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
ジェスチャーを交え、アイコンタクトをとりながら、日常の挨拶をかわすことができる。　買い物やレストランでのオーダー、道案内等を簡単な表現で行うことができる。	授業中の発音評価 授業への参加度	自己紹介文を簡単な英語で書くことができ、他の自己紹介を聞いて、その情報を簡単にメモすることができ、テキストリーディングを聞き簡単な質問への答えを単語で書くことができる。	ノート・プリントチェック	問題が発生している場面での会話を聞き、問題の原因は何かを簡単に推量することができる。	リスニングテスト	教師の後についてﾌﾙｾﾝﾃﾝｽあるいは語句数語を適切な声の大きさ及びスピードで読むことができる。文章を理解して、適切な場所でポーズを置くことができる。	授業中の音・リーディング評価

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 (12 時間)	Lesson2 Fun with Pakkun	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		パックンへのインタビューから，日米の「笑い」の文化の違い，外国語学習のコツについて読み取らせる。	大意把握ができているか、セクションごとの内容に関しての T/F に答える。	問いかけに対して、積極的に返答ができているか。	ワークシートにて取り組み状況を判断する。
		「外国語表現の能力」			
		好きな外国人について発表させる。	本文内容に関連したテーマで，好きな外国人について英文でまとめて発表させる。	発表を聞いて理解することで，コミュニケーション活動ができているか。	言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		海外に渡って生活することの意義や難しさについて自ら考えさせる。	外国語学習の意義について考えさせる。	積極的に取り組んでいるか。	評価問題
		「言語や文化についての知識・理解」			
		It is … (for A) to ～，S＋V＋it＋C＋to ～，All you have to do is (to) ～を理解し，文を作ることができる。	本文中で用いられている意味や用法を確認する。	文法事項の基礎が理解できている。	小テスト・定期テストの筆記テストにおいて知識が身についているか判断する。
Lesson 4 (12 時間)	Lesson 4 The Real Top Player in the World	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		国枝慎吾選手の努力と功績について読み取らせる。	大意把握ができているか、セクションごとの内容に関しての T/F に答える。	問いかけに対して、積極的に返答ができているか。	ワークシートにて取り組み状況を判断する。
		「外国語表現の能力」			
		パラリンピックの競技について発表させる。	本文内容に関連したテーマで，パラリンピックの競技について英文でまとめて発表させる。	発表を聞いて理解することで，コミュニケーション活動ができているか。	言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		国枝選手が果たしている役割について自ら考えさせる。	国枝選手が果たしている役割について考えさせる。	積極的に取り組んでいるか。	評価問題
		「言語や文化についての知識・理解」			
		It is＋形容詞＋that-節，S＋V＋it＋C＋that-節，S＋V＋O＋O(＝名詞節)を理解し，文を作ることができる。	文中で用いられている意味や用法を確認する。	文法事項の基礎を理解できている。	小テスト・定期テストの筆記テストにおいて知識が身についているか判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson6 (12 時間)	Lesson 6 Nature for the Next Generation	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		小笠原諸島の世界遺産登録の背景と，ガラパゴス諸島の事例から得られる教訓を読み取らせる。	大意把握ができているか、セクションごとの内容に関しての T/F に答える。	問いかけに対して、積極的に返答ができているか。	ワークシートにて取り組み状況を判断する。
		「外国語表現の能力」			
		環境保護について発表させる。	本文内容に関連したテーマで，環境保護について英文でまとめて発表させる。	発表を聞いて理解することで，コミュニケーション活動ができているか。	言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		環境保護に対する自分たちの責任について考えさせる。	環境保護に対する一人ひとりの責任について考えさせる。	積極的に取り組んでいるか。	評価問題
		「言語や文化についての知識・理解」			
		「時」や「理由」などを表す副詞節，分詞構文(現在分詞)，「推量」を表す助動詞，助動詞＋have＋過去分詞を理解し，文を作ることができる。	本文中で用いられている意味や用法を確認する。	文法事項の基礎が理解できている。	小テスト・定期テストの筆記テストにおいて知識が身についているか判断する。
Lesson 8 (14 時間)	Lesson 8 Streetcars in the 21st Century	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		従来の交通機関の問題点と LRT の利点を読み取らせる。	大意把握ができているか、セクションごとの内容に関しての T/F に答える。	問いかけに対して、積極的に返答ができているか。	ワークシートにて取り組み状況を判断する。
		「外国語表現の能力」			
		自分や同級生の通学方法などを発表させる。	本文内容に関連したテーマで，自分や同級生の通学方法などを英文でまとめて発表させる。	発表を聞いて理解することで，コミュニケーション活動ができているか。	言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		新しいタイプの交通機関について自ら考えさせる。	快適で環境にもやさしい交通機関のアイディアを考えさせる。	積極的に取り組んでいるか。	評価問題
		「言語や文化についての知識・理解」			
		仮定法過去，S＋V＋O＋C(＝原形不定詞，現在分詞)，S＋V＋O＋C(＝過去分詞)，同格の that を理解し，文を作る。	文中で用いられている意味や用法を確認する。	文法事項の基礎を理解できている。	小テスト・定期テストの筆記テストにおいて知識が身についているか判断する。